

6月は環境月間



3Rを実践しよう

「3R (スリーアール)」とは、国が資源有効活用促進のために掲げる政策。循環型社会を形成するための3つの取り組み、Reduce (リデュース：発生抑制)、Reuse (リユース：再利用)、Recycle (リサイクル：再資源化) の頭文字を取ったものです。

- たとえば—
- 必要なだけ買う
  - マイバッグを持参する
  - リターナブル容器を選ぶ
  - できるものは修理して使う
  - 不要になった物は必要な人に譲る
  - 資源ごみを正しく分別する

今回は「リユース」にスポットを当て、環境と経済が両立した取り組みを紹介します。

大切な地球の環境を守るために、私たちにできることはたくさんあります。「ものを大切にすること」もそのひとつ。当たり前のように、限りある資源を守るだけでなく、廃棄処分時の環境汚染や、最終処分場のひっ迫を防ぐことにもつながります。

シルバースタッフの手仕事と  
若手職員の情報発信がマッチ！  
回収家具の再生・販売

「まつやま Re・再来館 (りっくる)」では、2002年のオープン時からリサイクル家具の販売を実施。松山市で回収された粗大ごみのうち、再利用可能なものを市シルバー人材センターの会員が修理して販売し、売上は松山市の収入になっています。西原修一さん(79)は家具を扱う仕事を定年退職後、りっくるで修理に携わって14年。「相棒」と呼ぶ伊藤好隆さん(72)も6年選手というベテランコンビです。

天板がはがれた机、ひきだしが開きにくいたんす、変色したサイドボードなども、組み立てから見直し、貼ったり締めたり、磨いたり。時には修理不可能の家具の部材を活用することも。子ども用の家具は使用年数が短い状態が良いものが多く、人気も高いそうです。



新年度は売れ行きがよく、在庫わずかな売場

フェイスブックで情報発信

スタート時は月1回、入札をする競売方式でしたが、「りっくる10年祭」の機会に常設の展示販売に。その後、2014年に赴任した小林貴茂さん(28)が、家具の到着情報をりっくるのフェイスブックで紹介したことで、購買層が広がり、販売数もグンと増えました。※りっくるのリサイクル家具販売は、松山市民と市内で働く人が対象です。

◎まつやま Re・再来館 ☎968-7153



月に1度、再クリーンセンターに保管された回収家具をチェック

回収や再利用、再資源化が  
障害者の働く場に！

古着・廃食用油の再資源化

回収ボックスに集まった古着や廃食用油を、障害者の自立を目指す団体「ハートフルプラザ松山」が回収、運搬。リサイクル企業を通じて、再利用、再資源化されています。

2011年から始まった松山市の補助事業で、回収ボックスは松山市内のホームセンターやスーパーなどサポート店と、公民館・市役所・りっくるなどに設置されています。

◎ハートフルプラザ松山

☎080-2989-7984 (月～金 9時～17時)

<http://www.heartfullplaza.jp/>



毎日たくさんのお古着が集まるダイキEX美沢の回収ボックス